

.研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
吉崎和幸, 岡本真一郎, 川端浩, 水木満佐央, 川上純, 正木康史, 矢野真吾, 井出眞, 宇野賀津子, 八木克巳, 小島俊行, 水谷実, 徳嶺進洋, 西本憲弘, 藤原寛, 中塚伸一, 塩沢和子, 岩城憲子, 古賀智裕	キャッスルマン病診療の参照ガイド	臨床血液	58	97-107	2017
井出眞, 吉崎和幸 (他 35 名、16・32 番目)	International, evidence-based consensus diagnostic criteria for HHV-8-negative/idiopathic multicentric Castleman disease	Blood	129(12)	1646-1657	2017
川端浩	Castleman 病	岡明編 小児科診療増刊号 小児の症候群. 東京都, 診断と治療社	vol 79 suppl,	pp 183	2016
Masaki Y, Kawabata H, Kurose N, Ide M, et al. (他 25 名、筆頭、2 番目、7 番目、8 番目)	Proposed diagnostic criteria, disease severity classification and treatment strategy for TAFRO syndrome, 2015 version.	Int J Hematol.	103(6)	686-92.	2016
正木康史、川端浩、黒瀬望、ほか (他 8 名、筆頭、2 番目、7 番目)	平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患政策研究事業) 新規疾患; TAFRO 症候群の確立のための研究班. 新規疾患; TAFRO 症候群の診断基準・重症度分類・治療指針.	臨床血液	第 78 回日本血液学会学術集会「教育講演」号. 臨床血液 57	195-203 (2029-2037)	2016
正木康史、藤本信乃	TAFRO 症候群	臨床免疫・アレルギー科	65(6)	604-607	2016

<u>正木康史</u> ・藤本信 乃・ <u>川端 浩</u>	TAFRO 症候群の診断と治療・ EMB 血液疾患の治療 2017- 2018 金倉譲・木崎昌弘・鈴 木律朗・神田善伸編。	中外医学社	2016年10月 15日発行	p385- 390	2016
------------------------------------	--	-------	-------------------	-----------	------

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>正木康史</u>	新たな指定難病としてのIgG4 関連疾患.	臨床免疫・アレルギー科	65(1)	28-34	2016
<u>正木康史</u>	(特集; IgG4 関連疾患の病因・病態を考える) IgG4 関連リンパ節炎から	分子リウマチ治療	9(1)	17-20	2016
<u>正木康史</u>	IgG4 関連疾患の管理と治療における国際コンセンサス-日本人臨床医にも妥当で有用か?-	リウマチ科	55(2)	221-226	2016
<u>正木康史</u>	II 章 薬物療法の実践. B. リンパ腫. 33.免疫不全に続発するリンパ増殖性疾患	白血病・リンパ腫薬物療法ハンドブック 松村到編集	2016年6月25日発行	p278-282	2016
Fujita Y, <u>Masaki Y</u> , et al. (他14名、12番目)	Isolation of vascular smooth muscle antigen-reactive CD4(+) Th1 clones that induce pulmonary vasculitis in MRL/Mp-Fas(+/-) mice.	Cell Immunol	303	2016 May;303:50-4. doi: 10.1016/j.cellimm.2016.03.004.	2016
<u>正木康史</u>	不明熱の理解のために知っておくべきエビデンスとアート. 不明熱の原因疾患 pick up. 血管内リンパ腫.	Modern Practice	33(7)	1105-1107	2016
<u>正木康史</u>	IgG4 関連疾患の治療の最前線- 日米における診断と治療の違いを中心に.	医学のあゆみ	258(3)	217-222	2016
<u>正木康史</u> 、 <u>黒瀬望</u>	IgG4 関連疾患と間違っはいけない疾患	肝胆膵	73(4)	585-590	2016
<u>正木康史</u> 、 <u>川端 浩</u> 、ほか.(他6名、筆頭、7番目)	IgG4 関連疾患の診断と治療	金沢医科大学雑誌			
<u>正木康史</u> 、ほか.	シェーグレン症候群とリン	リウマチ科	56(5)	452-457	2016

(他 4 名、筆頭)	バ增殖性疾患				
------------	--------	--	--	--	--

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Masaki Y, Kurose N, et al. (他 33 名、筆頭、31 番目)	A multicenter phase II prospective clinical trial of glucocorticoid for patients with untreated IgG4-related disease.	Mod Rheumatol.	2016 Dec 15	1-6	2016
正木康史	IgG4 関連疾患をどのように治療しているか.	アレルギーの臨床	36(13)	(1255)41-(1258)44.	2016
正木康史、川端 浩、ほか. (他 6 名、筆頭、7 番目)	IgG4 関連疾患の診断と治療	金医大誌	41	67-72	2016
正木康史	白血病やリンパ腫の治療緊急性.	Medical Practice	34(2)	335	2017
正木康史	血管内リンパ腫	血液疾患最新の治療 2017 - 2019		pp177-179	2017
正木康史	新たな指定難病としての IgG4 関連疾患	臨床免疫・アレルギー科	65(1)	28-34	2016
正木康史	(特集; IgG4 関連疾患の病因・病態を考える) IgG4 関連リンパ節炎から	分子リウマチ治療	9(1)	17-20	2016
宇野賀津子	低線量放射線の影響:福島から何を学ぶ	ADC Letter for Infectious Disease Control 27	Volume 3 (2)		2016

